

人口の動き

人口	4,057 人
世帯数	952世帯
出生	6 人
死亡	7 人
転入	20 人
転出	69 人

(3月末住民登録人口から)

# ひがし しらかわ 広報

才161号

発行  
東白川村企画広報部  
岐阜県加茂郡東白川町  
TEL (東白川) 1

印刷  
中部印刷株式会社

昭和48年5月10日発行



古式豊かな

神楽獅子

ことしもまた、越原子護神社の春祭りに伝統の神楽獅子がひろうされました。

むずかしい踊りや笛、たいこのおはやしも、しだいに若い人に受け継がれ、伝統の文化財が守られようとしています。

— 4月24日子護神社の境内で

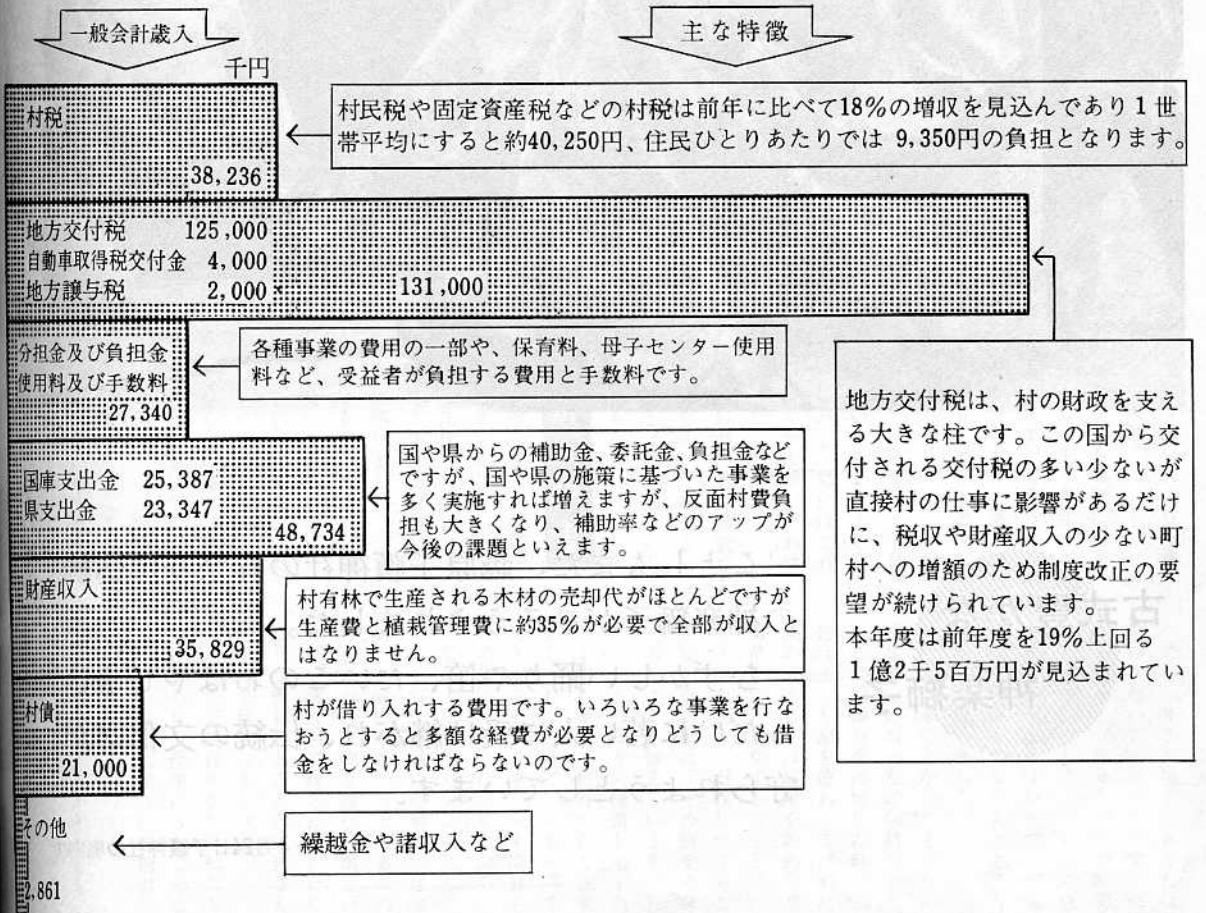
# 4億3千万円 福祉優先の大型に

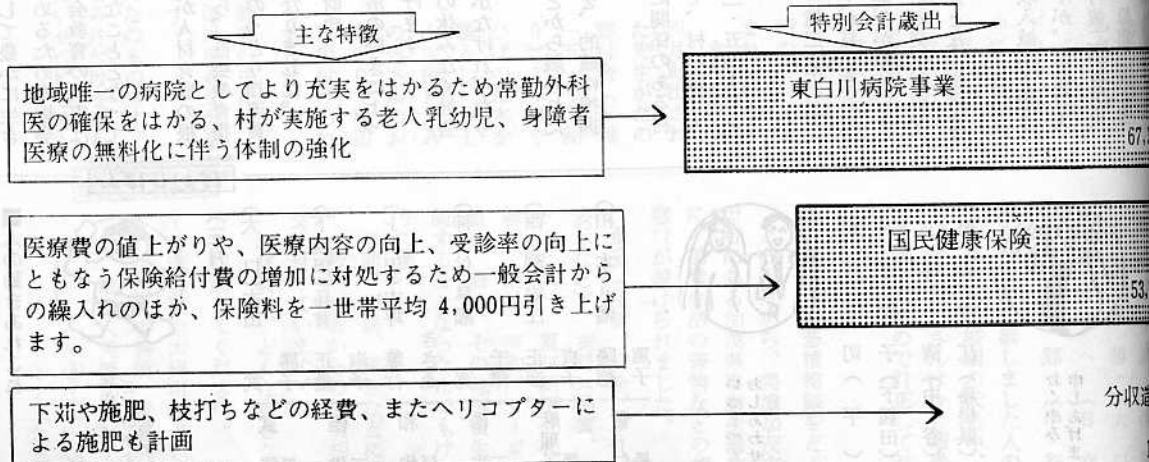
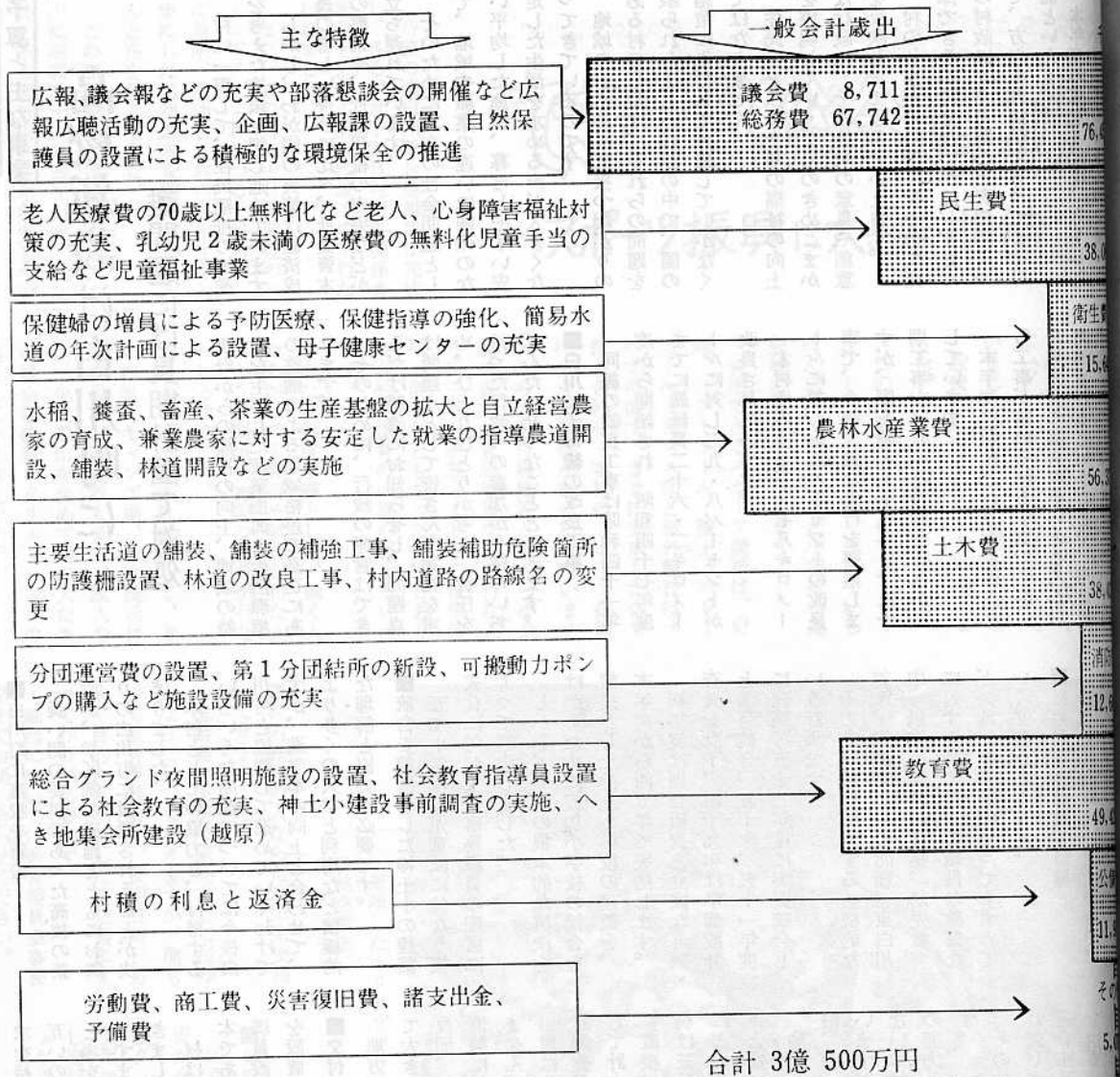
## 新年度の一般、特別会計予算が成立

さる3月15日から開会された村議会第1回定例会において昭和48年度予算が成立しました。

村議会は、6日間にわたって慎重に審議が行なわれましたが、最終日の20日、一般、特別会計合わせて昨年当初予算を約3,600万円上回る4億2千7百20万4千円の予算を可決しました。

本号では、この予算のあらましを特集し、これが村の人たちの生活にどのように生かされていくのか、必要財源の確保がむずかしい本村が今後やらねばならない多くの問題をかかえてどのように進んでいったらよいか、ともに考える資料としました。







予算と主な事業

# 高校新設は白川町に

## 難問題には長期計画で対処

村は一貫して、住民福祉の増進を考えた施策を押し進めています。しかし、わが国の実情は経済成長の著しい伸びに比べ、社会資本の整備や、社会福祉の充実などが立ち遅れています。

そのために現在の社会問題として、地域や職業の違いに関係のない平均した施策、暮らしやすい安定した生活を求める声が大きくなってきているのです。

地域の皆さんに直接つながりのある村の行政は、それらの問題を限られた乏しい財源の中で、国の施策に先行して実施していかなくてはなりません。

住民ひとりひとりの福祉の向上を実現していくためのきめこまかな行政は、その地域の意見や創意を反映してできるといえます。

村の仕事がその効果を十分に発揮できるかできないかは、皆さんの村政に対する関心と責任によって、方向や方法が決まってこそ可能といえます。

本年度の基本方針は、そうした考えを基に村の皆さんの立場にたち、皆さんの意志によって長期的

視野からの福祉の向上、地域の特性を生かした産業振興と生活環境の整備による地域格差の是正にあります。

そのために、行政の運営はできるだけ明確にお知らせし、問題点は問題点として皆さんに意見を求め、ひとりひとりが考え、責任を持った行政への参加が今後のいっばんたいせつなことといえます。

### ■白川加子母線の改良工事

同線の改良工事は昭和四十一年度から開始され、昭和四十七年度までに総延長二六・二キロメートルに対し二九・八パーセントが改良されています。

本村地内は十三・七八キロメートルに対し一五・パーセントの改良率で、今後大幅な進行を要望しますが、国も昭和五十五年までに一期工事を完成する方針を明らかにしています。

本年度は予定どおり大沢地内から工事が始められる予定ですが、用地問題の解決の早いところから実施されるということで、用地確保など村で行なう作業について協力をおねがいします。

### ■白川町に高校を新設

長い間の要望であった高校の新設が、学区制の実施とともにお隣の白川町に設置されることが決まりました。

本村としての協力と、付帯するいろいろな問題については今後白川町と協議して進めていくわけですが、進学率の向上と合わせて、より多くの入学と利用など積極的な理解と協力が必要です。

■統合を前提とした神土小の建築  
五加小学校の児童減に伴う複式化に対して、事務職員員の配置によって解決しました。

しかし、今後の根本的な解決をはかるために五加小学校の統合を前提とした神土小学校の建築を、本年度から四カ年で実施します。初年度は調査研究と立案など調査費を計上、四十九年は準備設計と名目統合、五十年、五十一年度に建築、五十二年度に実質統合という計画です。

その他、通学に対する抜根的な対策、学校プールの問題、東白川中、越原小学校の建築、幼児教育に対する具体策、教職員員の確保など長期的な視野にたつてすすめていく必要があります。

### ■社会教育指導員の設置

激しい社会構造の変化の中で、ひとりひとりがその生涯の各時期に必要とする新しい生活態度や生活

求を持ち、人間として豊かに生き互いの連帯感を高めるための機会と場を提供する社会教育の充実はますますたいせつなこととなってきました。

村は、社会教育が人材育成の根本であるところから、社会教育指導員設置の制度にのっとり指導員を設置することになりました。

### ■交付税が主の村財政

地方財政は、経済の動きによって大きな影響を受けます。

反面、行政は一刻の休みなく社会情勢に対応していかなければなりません。

村はそうしたことから限られた財源確保の見通しを、的確に把握して計上しました。

直接村の皆さんに関係のある村税は三千八百万円で、村の総収入に占める割合は二二・五パーセントとなっています。

地方交付税は、一億二千五百万円、四一パーセントが見込まれていますが、税収の伸びが期待できない本村にとってこの交付税確保の努力と運動が重要となってきます。

その他全体的に収入減が予想され厳しさを加えますが、財産収入三千五百万円と、村債二千五百万円を主要財源として、総額三億五百万円が一般会計の歳入予算として計上されています。

## けいじはん

人の動きあれこれ



誕生おめでとうございませう

(三月)

(大口)古田 武勝 長男

(下親田)島倉 正量 佳代 二女

(上親田)大坪 兼行 和代 長女

(神付)早瀬 寛 浩也 二男

(西洞)安江 正彦 麻理子 長女

(栢本)八幡 隆徳 哲仁 長男



いつまでもおしあわせに

安江 司(平)

大坪 恒子(下親田)

小池 清(中谷)

出雲 幸江(島根県)



おくやみ申しあげます

安江 重太郎 (新山)

# できたぞ総合運動場

## スポーツ振興に大きな期待

場がなく、また緊急時のヘリポートの必要性などから、一日も早く広いグラウンドの建設が要望されていましたが、やっと全部が完成し一般使用に供されることになりました。

この運動場の広さは一万二百平方メートルもあって、今までいっぽん広かった神土小と中学校の運動場の約二倍となります。

使用できるスポーツ競技は、野球、ソフトボール、陸上、バレーボール、テニスなど屋外競技はすべて可能で、さきに完成した体育館と合わせ、本村のスポーツ振興に大きな期待が寄せられています。

そのほか付属施設として、小会議や更衣、管理事務などの行なえる百三十六平方メートルの管理棟や、便所などもあって文字どおり総合的な体育の広場の誕生といえます。

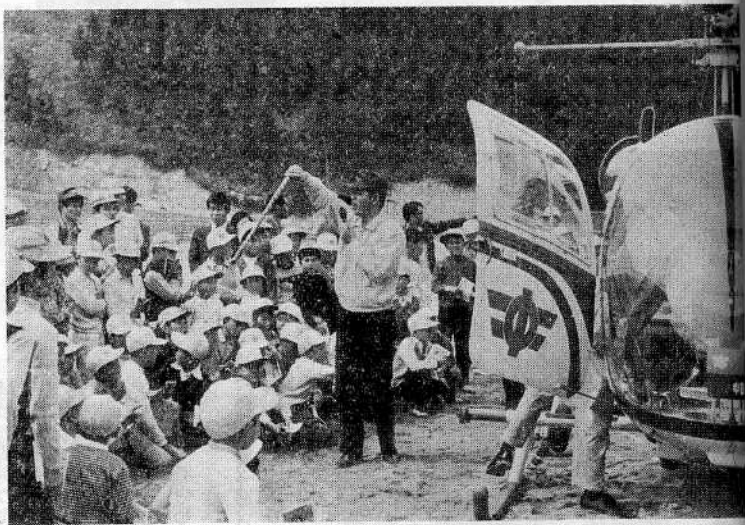
また本年度事業として、働く人たちが夜でも練習や試合が行なえるよう夜間照明施設の設置が行なわれる予定です。

村は周辺の将来計画として、青年の家、キャンプ場、教育展示林、遊歩道などの建設も予定、成人の山、少年の山を含めて村の人たちの健全な体育レクリエーションの場としていく考えです。

待望の東白川総合運動場が完成し、さる四月十四日村内外関係者多数を招いて盛大に竣工式が行なわれました。

また、この日は中日新聞社のヘリコプター「おおつる」がお祝いに飛来、着陸して村内小中生を対象にした航空教室を開催、いちだんと花をそえました。

この運動場は、役場裏の成人の山に昭和四十五年着工以来、総工費二千七百万円と三年を費して完成したものです。



着陸したヘリコプターを囲んでの航空教室

■村内在住の人ならだれでも使用できます

運動場の使用は原則として村の人ならだれでもできますが、前もって教育委員会で、使用日時、方法、目的など明記した申込書によって許可が必要です。

細部については教育委員会事務局までお問い合わせください。

局までお問い合わせください。

金が使用してあります。

このグラウンドの建設費の中には前村長河田勘市氏から六十万円、名古屋商科大 学学長栗本佑一氏から百万円の寄付が含まれています

また、昨年四月転出された先生がたの寄付金(広報一五一号で紹介)で、桜やひばの苗木を購入し、神土小学校PTAの皆さんのお骨折りで周辺に植付けられました。

■この運動場の建設費の中には、四百七十万円の国民年金還元融資が含まれています。

■グラウンドはみんなのものです。使用後の整備やごみ片付けを励行し施設、設備はたいせつにしましょう。

今井ふじゑ (西福)  
古田 武勝 (大口)  
今井すずへ (日向)  
安江 美郎 (中谷)

■先月号に記載しました人の動きあれこれの婚姻の氏名中、柏本、今井孝三さんは今井昭義さんの誤りですので訂正しておわびします。

■消費生活の苦情相談をどうぞ

この四月から、美濃加茂市太田町にある加茂県事務所総務課に、消費生活の苦情などの相談窓口が設けられました。

食品(品質、安全、サービス表示など)、衣料(品質、機能サービス)、電気厨房、化粧品、雑貨、薬品、契約、サービス、量目、価格、その他消費生活に関することならなんでもけっこうです。

書面、面談、電話などによって一般消費者からの苦情相談を受け付けています。

お気軽に、どんな小さなことでも相談してください。

### けいじはん

美濃加茂市太田町神ノ木  
加茂県事務所 総務課  
電話(美濃加茂)  
⑤一三三三四  
⑤一三三三四

# 第一回加茂郡市環境緑化推進大会

## 自然の緑を身近に

### 開催を機に教育展示林も開設

造林中心の植樹から、環境緑化の植樹をと加茂郡市の第一回環境緑化推進大会が、さる四月二十六日本村神土の後山地内で行なわれました。

昨年まで緑の大会として造林を目的とした植樹を中心として開催されてきましたが、ことしから環境緑化を目的として生まれ変わったものです。

都市近郊からしだいに失なわれつつある緑を守り、身近なところにより緑を増やし、自然を取り戻そうというこの大会の第一回開催地として本村が選ばれたことは、村ぐるみの自然保護と環境緑化の模範としての役割りを果たしたといえます。

村ではこの大会を機に、かねてから準備をすすめていた教育展示林の開設を行なうため、村の木として選定したハナノキをはじめ三十七種類二百本の植樹を当日の行事として盛りこみました。

大会は午前十時半から記念式典が始まり、広江果林務部長をはじめ



め県や加茂郡市八カ市町村関係者本村関係者、それに本村緑化少年団員七十人も参加、環境緑化の宣言と決議を行なうとともに、緑化少年団の団長安江敏治君も緑化決意を朗読するなど大きな盛りあがりを見せました。

また、加茂郡市の緑化功労者の表彰式も行なわれ、本村五加大沢の今井好夫さんも表彰を受けられました。

この後、一般参加者は植樹、少年団員たちは少年の山に施肥を行なうなど、汗にまみれての作業を行ない、正午すぎ意義ある大会の幕を閉じました。

この日を期して開設した教育展示林には、ひのきやすぎなど自然に生えている三十五種類のほかに

こんど植えたいちいやいちよう、かえで、つつじ、さくらなど三十七種類を合わせ七十余

↑緑化の功労をたたえて表彰される皆さん  
←展示林に緑化のねがいをこめての植樹



種類の針葉樹、花木などに名札がかけられています。

自然にひたりながら、木の名前が覚えられるこの展示林は、今後とも私たちはかりでなく一般村民の皆さんにも訪れていただき、憩いの場として利用してください。

【ハナノキを村の木に】  
村では、この展示林の開設を機に、国の天然記念物に指定の自生地もあることから、ハナノキを村の木として選びました。

村の広葉樹の代表的なものとして、春から秋へかけての色の移り変わりの美しさはもうおなじみです。

今後村の象徴として、たいせつに、そして増やしたいものです。

### けいじばん

■感電事故防止についてのお願

最近、小鳥を捕えようとして電柱に昇り、働き盛りの二十七歳の方が感電即死という痛ましい事故が中濃地方に発生しました。また、一月中旬には名古屋工業大学の助教授のかたが子どものたこが電線に引かかったのをとろうとして電柱に昇り、感電死亡されました。

電気が近寄っても色も臭もなく、電流が流れているかどうか融れなければわからないやっかいなしろいものです。

当社職員はいろいろな計器を使用して電気の流れを確認し、その上、保護具やゴム手袋、ゴム長靴等を使用して作業を実施しています。一般の方が見られますとなら変わったことはないようですが、このように感電防止対策を十分にした上で電線に触れているのです。

皆さんが電線の近くでつぎのような作業をされる場合は必ず最寄りの中電営業所にご相談ください。

- 1 電線の近くで家屋新築、屋根の修理等の時
- 2 電線の近くでテレビアンテナの保修作業の時
- 3 電線にたこ、小鳥等が止まってこれをとろうとする時
- 4 電線の近くで鯉のぼりを立てる時





# 月額二千元の手当を支給

## 重度心身障害者の看護者に

重度心身障害者のかたを看護され、いろいろとご苦労の多いかたがたのために、村ではこの四月から看護手当を支給することになりました。

看護手当は月額二千元で、少しでもその負担の軽減を図る制度として、次のような内容で実施します。

- 看護手当の支給を受けられるか
  - 一、村内に住所を有する身体障害者手帳一級の者およびこれと同等以上と村長が認める者を看護している者。
  - 二、村内に住所を有する重度精神薄弱者（知能指数三十五以下）以上の判定を受けた者およびこ

れと同等以上と村長が認める者を看護している者。

(付記)

- 一、前該当者で、村長が認める者とは特別の事由で障害者手帳を受けられないかた、および精神薄弱者判定を受けられない人に限りです。
- 二、看護とは、重度心身障害者の日常生活において常に付添い看護を要することをいいます。

■所得制限は  
看護手当の支給を受けられる資格があるかたでも、重度心身

## 新任です

### よろしく

#### 村の保健婦が二名に

村では、より健康で明るい村づくりをめざして保健行政の充実をはかっていますが、この四月から保健婦を一名増員いたしました。一名を役場、一名を病院に常勤させ、指導機関と医療機関の連絡を密にした保健活動を行います。

前任の安江延子保健婦が退職したため、次のふたつを採用しましたのでお知らせします。



新田 保健婦      林 保健婦

林 弘子（役場保健婦勤務）  
新田 崇子（東白川病院勤務）

東白川村のみなさん、こんにちは。私たちはこの四月から前任の安江延子保健婦にかわり、村の保健

婦活動にたずさわることになりました。

村全体の人が健康な一生を送るためには、みなさんがたの深いご理解とあたたかい協力がなくては、その目標を達成することはできません。

今後のいろいろな活動には、ごめんどうをおかけすることもあると思いますが、その時はどうぞよろしくおねがいします。

こんどは二名の保健婦です。未熟な私たちふたりで力を合わせて、健康で明るい村づくりをめざしてがんばります。どうぞよろしくおねがいします。

# 卒園記念に花だんを

## 越原保育園よい子の話題

障害者本人のかたに所得がある場合、または、重度心身障害者と生計を同一にする父母、子どもに所得税が二万円以上課せられていた場合は、支給対象者から除外されます。

■看護手当の額  
支給する看護手当の額は、一カ月二千元です。

■申請の手続き

支給の認定は看護者の申請に基づいて行ないます。該当者のかたは、民生課窓口で印鑑持参のうえ、申請の手続きをしてください。

■その他  
この制度でわからないことは役場の民生課、住民係まで問合せてください。  
(有線二二六二、二二四三)

村内保育園の入園式が、さる四月九日に行なわれました。

そのなかで越原保育園は咲きそろった草花に囲まれて、すばらしい入園式を行ないました。

同園遊ぎ室前の庭には、三色のパンジーがきれいに咲いています。

この花だんにパンジーの苗を植えて「なかよし花だん」と名付けました。

また入園式は、赤と黄色のカルセオラリヤの花に囲まれて行なわれました。

これは、この三月退職した村雲喜美代保母と、神土の保育園へ転勤した今井久子保母が子どもたちにかかかってくださいとお金を寄付されたもので、同園では使途を考えていましたが、入園式を花でかざってあげようと、カルセオラリヤの花六十鉢を購入してステージに飾りつけました。

きれいに咲きそろった花の中で子どもたちは大喜びで、元気に入園式の歌を合唱しました。

作ろうと話がまとまり、川から石を選び、近所の畑から土を運んで二日ばかりで完成させたものです。

これはこの三月に卒園した園児たちが、卒園記念に花だんを作ろうと話がまとまり、川から石を選び、近所の畑から土を運んで二日ばかりで完成させたものです。

越原にあってたと思えられる。 ■野菜の保存方法



# 村の文化



⑤

## ■五加の廻国供養塔

この供養塔は三山供養塚、また東西番供養塔とともに、五加神社東山道横（県道から百メートル入る）に建てられている。

標題の塔は明和六年（二百四十年前）、他はそれよりやや古く宝暦年代（約二百二十年前）に建てられている。

施主または願主は、近在の人である。

供養というのは物質的には、飲食物、衣服、香華などを、仏様、先祖、父母、師長、死者に捧げる意味であり、また精神的には、苦行をしたり経典をあげ、御詠歌を歌ったりすることであった。

またこの供養を行なえば、行なう本人にも功德が得られるとされ各村（今の部落）でひとびとが寄りあつて供養塔を建て、自他ともに功德を願った。

もともと仏教的な儀式であったが、江戸中期から神仏混合で、この供養の儀式にも精進、潔済（みそぎ）、参籠、奉幣などの神道の要素が入ってきた（修験道、山伏）

甲、脚絆、わらじばきでみのかきを持ち、列を連ねて野や山道を行脚し、ある時は山岳に入り滝にうたれ、ある時は社寺院にこもり、各宿所で供養を重ねて巡拝したも

このように巡手の代表的なものに、四国の空海（弘法大師）ゆかりの仏跡八十八カ所を巡拝する遍路があり、江戸時代にはこの形が各地にいろいろな形で巡拝コースとして作られていた。

天保三年三月（今から百四十年前）、白川町小原の室松寺の法師秀算が、近郷の人四名と発願主となり、四国八十八カ所をまねて新四国八十八カ所と号して、第一番札所を苗木霊山寺観音堂に始まり坂下―福岡―蛭川―久田見―切井―黒川―付知―加子母―佐見―油井―宇津尾―広野―白山―水戸野―中川―五加―神土―越原―黒川―切井―和泉―田代を回って最後の八十八番札所を室松寺として定めた。

その要領、案内、身ごしらえ、札の書きかた、御詠歌の唱えかた札所の所在、寺名、御本尊を記し

その中で本村の札所は、つぎのように記載されている。

―六十番札所五加柏本八幡坂 横峯寺、本尊、不動明王

これは標題の廻国宿供養塔のあ



る所で八幡坂には当時、安正院安江周盛が八幡社（柏本神社）の神主であり、また法師であったのでここが霊場となり宿となっていた。

不動明王は現在、県道切貫岩の近くに建てられているものが、八

―六十番奥の院 五加久須見 袖の田 本尊 薬師如来

六十字と同奥の院の歌は たてよこに、三年や山辺に寺たてて、あまねく人を、すくふものかな

―六十一番 神土大口 地藏堂

香苑寺 本尊 地藏菩薩のちの世を おそるる人に香苑寺、とめてとまらぬ しらたきの水

―六十二番 神土西洞、一の宮 観音堂 本尊 地藏菩薩

さみだれの あとにいでたる玉の井に、しらつぼなるや一の宮川

同奥の院 神土平組 弥陀堂 本尊 阿弥陀如来

歌六十二番に同じ

―六十三番 神土親田 地藏堂 吉祥寺 本尊 地藏菩薩

世の中に、あしき悲報をうちすてて、みな吉祥を のぞみいのれよ

―六十四番 越原栗毛呂 里前神社 本尊 阿弥陀如来

まへに神、うしろに仏、ごくらくの よろずのつみを、くたくいしすち

(注)

札の歌は、三回は必ず詠へとあ

る。

野菜やくだものは日がたつにつれておれたり腐ったりします。当り前のことですが、これは野菜やくだもの自体の呼吸作用と蒸散作用によるものです。ご家庭で少しでも長持ちさせるにはどうしたらよいかというと野菜やくだものの呼吸量や蒸散量を抑える工夫をすればよいわけです。つまり、その一つの方法として、温度を下げるのがあげられます。買ってきたらなるべく涼しい場所か冷蔵庫に入れればかなり効果がありますが温度を下げるだけでは蒸散作用を抑えることはできません。たとえば、キヌウリやナスはポリ袋に入れておくことです。しかしそれも気温十五度以下の場所に保管するときでしてそれ以上のときは逆にむれて腐りやすくなります。

葉のついた大根や花野菜は葉をとっておくほうが、しおれ方が大分ちがいます。しかし、気温と湿度の高いこのごろでは、どんなに工夫しても鮮度の落ちてゆくのをくいとめるわけにはいきません。冷蔵庫から出した途端に呼吸作用によって痛みがはじまりますから。

要は、買ってきたら早く調理することで、ポリ袋にしても冷蔵庫でも、夏のあいだは野菜の保管には弱いものですからなるべく買っておきたくないほうがよいということです。

# 花子さんが三回目の贈物

## 恵まれないかたと保育園へ

ことしもまた越原家の古り鯉、花子さんから、村へ一通の手紙とともに現金三万三千円の寄託がありました。

この寄託もこととして三回目、花子の飼主である名古屋女子大学長越原公明さんの、愛鯉を通して愛の社会をの願いが、着実に実を結びつつあるようです。

村では、この寄託をありがたうお受けし、花子さんの意志にそって有効に使わせていただくことにしました。

それでは、花子さんの手紙を紹介しましょう。(原文のまま)

昭和四十八年弥生  
越原家古り鯉 花子  
東白川村長 安江多策様

村長様には、ご健勝で公務にご精励のこと心からお喜び申しあげます。

さて、過去一年間私こと花子を觀賞にこられたかたがたから喜捨していただきました金員を、ここにご寄託申しあげます。

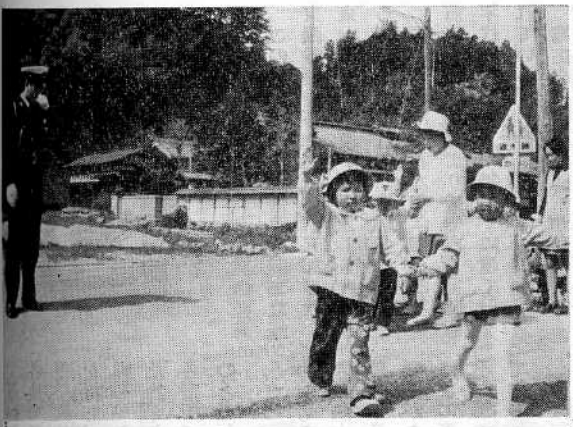
有効にご使用いただければ何よりもさいわいに存じます。

早いもので、こうした私を通じたの微意をお届けするようになってから三年目になりました。

昨年お届けいたしました際には村長様から花子あてにお手厚い礼状をいただき、まことにうれしく存じました。

私は魚ですが、長生きのおかげで善意の魔性を身につけておりますので、村長様のお手紙も読むことができ、意味もよく理解できました。

(飼主の越原公明いわく。あーら花子さん魔性とは恐しや)私は当年とって二百二十一歳の寿を重ね、ますます健康でございます。



### 保育園のよい子も 交通教室で勉強

春は新入学や入園児が多く、こどもの交通事故の多い季節。道路の横断は手をあげて、車や家の角からは飛びださない、明るく楽しく安全に通学通園できるよう勉強しました。

運転手の皆さんも、気をつけて村ぐるみの交通安全運動を盛り上げましょう。

—東白川保育園での交通教室



### 有線放送電話新設などのお知らせ

部 落	加入者名	番号	屋 号	職 業	公社電話
中 通	田口 初枝	2900			
中 谷	松島 光夫	3038		畜 産	
曲 坂	荻田喜郎工場	3188		タイル加工	
日 向	安江 司	3207		病院職員	
陰 地	村雲佐七商店倉庫	3450			
大 明	森川 静夫	3698		タイル加工	
大 沢	高木 重夫	3958		山林労務	
平	コメヤ木材事務所	2598		木 材	
廃 止	大 明 神		小 倉 治 郎		
変 更	柏本から大沢へ		高 木 重 夫		

どうか私にあやかられて、村内皆様があたごとく百歳以上までご長命くださることをねがっています。

寄託金 金三万三千円也  
うち一万五千は村内の恵まれないかたがたへ。  
一万八千円は村内保育園の教具遊具等の購入費のなかへ。



■行政の内容を明確に皆さんに知らせ、皆さんの意見や要望をできるだけ聞いて行政に生かすというのが、当初の基本方針として村長が示しました。

■広報活動の使命は、そのパワ的な役割りを果たすため、よりわかりやすく知らせるとともに解説することにあります。

■一方、皆さんの声や、反応に対して敏感でなくてはなりません、皆さんもこうした村の方針に對して、えんりょなく、率直に声をだして、ください。